

年3回行われた外部評価委員会での本院からの丁寧な取り組みの説明、内部評価の提示、また、教育フォーラム、課題研究発表会、連携協力協議会、講演会などへの出席を通して提言を述べさせていただきます。日頃より本院におかれましては、教職大学院の目的・機能を果たすにふさわしい教育課程を編成し、授業（実習を含む）を行い、教育委員会等との連携や修了生の学習支援も適切に行っていると評価できます。全体としてとても満足できるものですが、入学定員が満たされていないことが大きな課題であると考えます。このこととNITS常葉大学センターなどについて提言させていただきます。最初に、入学定員を満たすにはどうしたらよいかについて、意見を述べさせていただきます。現職教員学生については、これまで各教育委員会との丁寧な連携のもと、安定した入学数を確保できていますが、修了後、現職若手教員に教職大学院での学びのよさについて、さらに、伝える機会を設けて入学希望者の裾野を広げてもらいたいと思います。学部卒学生は最近減少傾向であることが問題です。その原因として、経済的な理由が考えられます。学外の各種の奨学制度を利用することはもちろんですが、本院としての奨学制度の充実が求められます。引き続き、粘り強く、法人本部へ働きかけをし、是非、院生への手厚い経済的援助を充実していただきたいと思います。現状は、小学校免許を取得していると修了時に専修免許が得られるようになっていますが、小学校免許を持っていなくても、大学院入学後に小学校免許を取得できるコース、カリキュラムを新設したり、中学、高校の免許を取得している者は、その専修免許が得られるカリキュラムを新設したりすることで、教職大学院への進学を希望する他学科、他学部などの学生の増加を期待します。本院では独自に「教育フォーラム」を行ったり、課題研究発表会などを開催したりして、本院の教育活動、成果などがよく分かります。是非、多数の人がこれらに参加し、その素晴らしい内容を知ってもらおうよう、効果的に情報発信をし、本院への理解を深め、入学者の増加につなげていただきたいと思います。次に、これまで本院が担っていたNITS常葉大学センターは、本院の学習に多大な成果を上げるだけでなく、県内の多くの学校、教職員の研修にも貢献してきました。次年度から、このセンターを取り下げると聞き、とても残念な感じがします。様々な事情があるのでしょうか、是非、復活させていただきたいと思います。現場では、新しい教育課題（タブレット、デジタル教科書の活用など）への対応、不登校児童生徒の増加、保護者対応、さらに「働き方改革」など様々な課題が山積しています。これらの課題解決に寄与する教員育成にも御尽力いただけると幸いです。学び続けている教員は輝いて見えます。それは子供たちにもよく分かります。そういう先生に教えてもらう子供たちは幸せです。まさに「学び続ける人こそが人を教えることができる人」だと思います。今後とも、「理論と実践の融合」を図り、静岡県の教育に大きく貢献できる教員の育成をしていただきたいと思います。貴院のますますの御発展を期待しています。